

小児歯科学Ⅱ	実習	[実習] 第4学年 後期 必修 2単位
--------	----	---------------------

《担当者名》○教授／齊藤 正人msaitoh@ 准教授／広瀬 弥奈minaniwa@ 講師／倉重 圭史kura@
 助教／大友 麻衣子tmaiko@ 助教／榊原 さや夏sayanatu@ 助教／蓑輪 映里佳minowa@
 助教／加藤 大生katotaisei@ 助手／金久保 千晶gs23l001@ 助手／市村 彰啓ichimura@
 助手／高橋 宏夢rd224811@
 非常勤講師／上津 誠司 非常勤講師／野呂 大輔 非常勤講師／福田 敦史 非常勤講師／関口 五郎
 非常勤講師／村井 雄司 非常勤講師／鈴木 かい 非常勤講師／近藤 有紀 非常勤講師／当山 佳織
 非常勤講師／房川 亜友美 非常勤講師／松本 也子 非常勤講師／岩寺 信喜 非常勤講師／菅谷 裕行
 非常勤講師／長沼 聖人 非常勤講師／真井崇行 非常勤講師／藤田裕介

【概 要】

本科目は、ラバーダム防湿法、予防填塞法、フッ化物応用法、乳歯の歯冠修復法、乳歯の歯髄処置法、保険装置製作の基本的技術や意義、乳歯の形態学的特徴の理解、小児歯科の治療計画立案について学習する。

【学修目標】

- ☆ 一度に多数歯のラバーダム防湿法を実施する。
- ☆ 乳歯・幼若永久歯の小窩裂溝部に予防填塞を実施する。
- ☆ 乳歯の歯髄炎の処置法の種類、適応症、術式を説明する。
- ☆ 乳歯の支台歯形成、既製金属冠の装着を実施する。
- ☆ 幼若永久歯の支台歯形成、既製金属冠の装着を実施する。
- ☆ 乳前歯部のコンポジットレジン冠修復を実施する。
- ☆ クラウンループ保険装置の製作及び装着を実施する。
- ☆ 小児の保護者に保険装置の目的、適応症、留意点を説明する。
- ☆ 齲蝕予防におけるフッ化物の応用方法を説明する。
- ☆ フッ化物の歯面塗布やフッ化物洗口法を実施する。
- ☆ 小児の保護者に適切なブラッシング法を指導する。
- ☆ 小児歯科における治療計画の立案を行う。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1 }	◎〈課題1 ラバーダム防湿法〉 ・ ラバーダム防湿法	● マルチメディア（PC）を介して、小児の歯科治療で必要不可欠なラバーダム防湿の術式を学び、マネキンDR-11と小児用顎模型において実施できる。 (F-3-1)-(③) ○「小児歯科学基礎実習ノート」 ● マルチメディア（PC）を介して、乳歯・幼若永久歯の小窩裂溝部に予防填塞を行うための基礎的な知識、術式を学び、マネキンDR-11と、小児用顎模型において実施できる。 (F-3-6)-(②) ○「小児歯科学基礎実習ノート」	齊藤 正人 広瀬 弥奈 倉重 圭史 大友 麻衣子 榊原 さや夏 蓑輪 映里佳 加藤 大生 金久保 千晶 市村 彰啓 高橋 宏夢
2	◎〈課題2 予防填塞法〉 ・ 予防填塞法		
3	◎〈課題3 フッ化物応用法〉 ・ フッ化物歯面塗布法 ・ フッ化物洗口法	● マルチメディア（PC）を介して、小児にフッ化物歯面塗布を行うための基本的態度、知識、術式を学び、マネキンDR-11と小児用顎模型において実施できる。 (F-3-6)-(①) ○「小児歯科学基礎実習ノート」	齊藤 正人 広瀬 弥奈 倉重 圭史 大友 麻衣子 榊原 さや夏 蓑輪 映里佳 加藤 大生 金久保 千晶 市村 彰啓 高橋 宏夢
4	◎〈課題4 乳歯歯髄切断法〉 ・ 水酸化カルシウム断髄法	● マルチメディア（PC）を介して、乳歯の歯髄処置の中で、比較的適応頻度の高い歯髄切断法であるCa(OH) ₂ 法の適応症、術式を学び、マネキンDR-11と小児用顎模型において実施できる。 (E-4-2)-(⑥) ○「小児歯科学基礎実習ノート」	齊藤 正人 広瀬 弥奈 倉重 圭史 大友 麻衣子 榊原 さや夏 蓑輪 映里佳 加藤 大生

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
			金久保 千晶 市村 彰啓 高橋 宏夢
5	◎〈課題5 既製金属冠による歯冠修復法〉 1. 乳歯冠用支台歯形成 2. 既製乳歯冠の調整	● マルチメディア (PC) を介して、既製乳歯冠による修復を行う際の支台歯形成、既製乳歯冠の調整法についての理論と術式を学び、マネキンDR-11と小児用顎模型において実施できる。 (E-4-2)-⑤) ○「小児歯科学基礎実習ノート」	齊藤 正人 広瀬 弥奈 倉重 圭史 大友 麻衣子 榊原 さや夏 蓑輪 映里佳 加藤 大生 金久保 千晶 市村 彰啓 高橋 宏夢
6	◎〈課題5 既製金属冠による歯冠修復法〉 1. 既製金属冠用支台歯形成 2. 既製金属冠の調整	● マルチメディア (PC) を介して、既製金属冠による修復を行う際の支台歯形成、既製金属冠の調整法についての理論と術式を学び、マネキンDR-11と小児用顎模型において実施できる。 (E-4-2)-⑤) ○「小児歯科学基礎実習ノート」	齊藤 正人 広瀬 弥奈 倉重 圭史 大友 麻衣子 榊原 さや夏 蓑輪 映里佳 加藤 大生 金久保 千晶 市村 彰啓 高橋 宏夢
7 { 8	◎〈課題6 クラウンループ保険装置による保険〉 1. 作業用模型の作製 2. クラウンループ保険装置の設計 3. クラウンループ保険装置の製作 4. クラウンループ保険装置の調整	● マルチメディア (PC) を介して、保険装置の1つであるクラウンループ保険装置についての理論と術式を学び、マネキンDR-11と小児用顎模型において実施できる。 (E-4-2)-⑨) ○「小児歯科学基礎実習ノート」	齊藤 正人 広瀬 弥奈 倉重 圭史 大友 麻衣子 榊原 さや夏 蓑輪 映里佳 加藤 大生 金久保 千晶 市村 彰啓 高橋 宏夢
9	◎〈課題7 コンポジットレジン冠による歯冠修復法〉	● マルチメディア (PC) を介して、コンポジットレジン冠の調整法についての理論と術式を学び、マネキンDR-11と小児用顎模型において実施できる。 (E-4-2)-③) ○「小児歯科学基礎実習ノート」	齊藤 正人 広瀬 弥奈 倉重 圭史 大友 麻衣子 榊原 さや夏 蓑輪 映里佳 加藤 大生 金久保 千晶 市村 彰啓 高橋 宏夢
10 { 13	◎〈課題8 可撤保険装置による保険〉 1. 作業用模型の作製 2. 可撤保険装置の設計 3. 可撤保険装置の製作 4. 可撤保険装置の調整	● マルチメディア (PC) を介して、保険装置の1つである可撤保険装置についての理論と術式を学び、マネキンDR-11と小児用顎模型において実施できる。 (E-4-2)-⑨) ○「小児歯科学基礎実習ノート」	齊藤 正人 広瀬 弥奈 倉重 圭史 大友 麻衣子 榊原 さや夏 蓑輪 映里佳 加藤 大生 金久保 千晶 市村 彰啓 高橋 宏夢
14	◎〈課題9 小児歯科の治療計画立案〉 ◎〈課題10 乳歯の展開図と形態学的特徴の理解〉	● マルチメディア (PC) を介して、小児歯科における代表的な口腔内所見から、治療計画の立案およびグループ討論を行う。(D-5-6)(E-5-5) ● マルチメディア (PC) を介して、形態学的特徴を学び、乳歯模型を使用し各自展開図を描く。 (A-3-4-4) ○「小児歯科学基礎実習ノート」	齊藤 正人 広瀬 弥奈 倉重 圭史 大友 麻衣子 榊原 さや夏 蓑輪 映里佳 加藤 大生

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
			金久保 千晶 市村 彰啓 高橋 宏夢
15	◎〈実習修了試験及び提出〉	● 実習修了試験の実施、検印表と製作物の提出	齊藤 正人 広瀬 弥奈 倉重 圭史 大友 麻衣子 榊原 さや夏 蓑輪 映里佳 加藤 大生 金久保 千晶 市村 彰啓 高橋 宏夢

【授業実施形態】

面接授業

※授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

◇〔小児歯科学（実習）評価方法〕 実習修了試験60%、実習製作物10%、実習態度（遅刻率・欠席数・器具準備状況・整理整頓状況）30%

【教科書】

「小児歯科学基礎実習ノート」小児歯科学分野編

「小児歯科学ベーシックテキスト」永末書店

「小児歯科学クリニカルテキスト」永末書店

「小児歯科学基礎・臨床実習」医歯薬出版

【備考】

3年次に講義を受けているので、各実習開始に復習を行う。

【学修の準備】

各実習課題の項目について「小児歯科学基礎実習ノート」、「小児歯科学ベーシックテキスト」、「小児歯科学クリニカルテキスト」、「講義プリント」を事前に熟読し、当日の実習に支障をきたすことのないようにすること。指定した教科書の項目を事前に必ず読んでおくこと。（45分）

当日の実習内容を復習すること（45分）。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

北海道医療大学歯学部歯学科の教育目標に基づき、厳格な成績評価を行い、要件を満たした者に所定の単位を与えます。

DP1. 安全で質の高い歯科医療を提供するために必要な専門知識に基づく問題解決能力と患者ケアのための診療技能とからなる専門的実践能力、および医療・医学研究の発展のために必要な情報・科学技術の活用能力を身につけている。

（専門知識に基づいた問題解決能力、患者ケアのための診療技能、情報・科学技術を生かす能力）

DP 2. 「総合的に患者・生活者を支える歯科医療」を提供するために必要な高い倫理観、他者を思いやる豊かな人間性および優れたコミュニケーション能力を身につけている。

（総合的に患者・生活者をみる姿勢、プロフェッショナリズム、コミュニケーション能力）

DP3. より安全で質の高い歯科医療を実践し社会に適応する医学を創造していくために生涯にわたって自己および他の医療者との研鑽を継続しながら医療者教育と学術・研究活動にも関与できる能力を身につけている。

（科学的探究、生涯に渡ってともに学ぶ姿勢）

DP 4. 多職種（保健、医療、福祉、介護）と連携・協力しながら歯科医師の専門性を発揮し、患者中心の安全な医療を実践できる能力を身につけている。

（多職種連携能力）

DP 5. 歯科医療の専門家として、経済的な観点・地域特性を捉えた視点・国際的な視野を持ちながら活躍できる能力を身につけている。

（社会における医療の役割の理解）

【実務経験】

齊藤正人（歯科医師）、広瀬弥奈（歯科医師）、倉重圭史（歯科医師）、大友麻衣子（歯科医師）、榊原さや夏（歯科医師）、蓑輪映里佳（歯科医師）、加藤大生（歯科医師）、金久保千晶（歯科医師）、市村 彰啓（歯科医師）、高橋 宏夢（歯科医師）

【実務経験を活かした教育内容】

小児歯科学とは、小児の口腔機能の正常な発育を図るために、これを障害する異常や口腔疾患の予防と治療を行い、健全な機能をもつ総合的咀嚼器官を育成し、小児の全身的発育と保健に寄与する科目である。多くの実務経験を背景とした診療技術、効率性を提示することで、優れた教育効果が期待できる内容となっている。

【その他】

この科目は主要授業科目に設定している